

【学会参加報告】

市立豊中病院 鈴木 陽三

今回初めてヘルニアの国際学会に参加しました。日頃より鼠径ヘルニアを中心とするヘルニア業務に従事しており、日本ヘルニア学会にも参加していましたが、実際にアジアを中心とするヘルニアに従事する医師の発表を直に聞き概ね日本のヘルニアの方向性に間違いはない、という確信を得ることができました。

また、発表を通じて座長らと討論することを通して、ヘルニアに従事する他国の医師と連帯感を感じることができました。

その一方で、ヘルニアに従事する日本の臨床が優れているように思われるにもかかわらず plenary session に日本からの演者が少ないことにもどかしさも感じ、論文という形で結果を残していくことの重要性を実感しました。

また、熱い討論の後に日本からの志を同じくする若手・ベテランの医師と酒を酌み交わしながら熱い思いを語り合う機会にも恵まれました。

これらの経験は現地に参加することで得られたかけがえのない体験となりました。今回、ご支援いただきましたヘルニア学会、ならびに関係各位の皆様に深く御礼申し上げます。



発表後、座長・演者での記念写真



学会会場近くのマーライオン



発表終了後有志での反省会